一般社団法人東京都建築士事務所協会
第九七回定時総会・懇談会

渋谷支部報

発　行
(一社) 東京都建築士事務所協会 渋谷支部
支部長　山本 誠
編　集
渋谷支部 編集委員会
会 員 数
正 会 員 121 社
協 力 会 員 19 社
令和 6年 5月 現 在

支部ＨＰ ＱＲｺｰﾄﾞ
(令和6年4月改定)

一般社団法人東京都建築士事務所協会は、六月十七日に令和六年第九七回定時総会を開催しました。その後、東京建築賞表彰式、懇談会が開催されました。

冒頭、この１年間に亡くなられた会員の方々へ黙祷を捧げ、その後、永池雅人副会長が開会宣言、富樫亮副会長が建築事務所憲章の朗読、そして千鳥義典会長のご挨拶がありました。

会長就任１年間を振り返って

「会員融和」を念頭に組織運営に取組んだこと、「継承と革新」事務所協会が建築設計業界を支援・先導する組織として確固たる地位を築くために、様々な課題に取組んでいく必要性があり、そのために課題の見える化を図り中期事業計画を策定したことについて話がありました。そしてそれを組織のコンセンサスを図りながら進めていくことが重要で、今年度、中期事業計画を具体計画に反映させ、令和６年度事業計画の重点施策３項目として進めていくとのことです。

続いて正副議長・議事録署名人が選任され、審議に入りました。

第１号議案の令和５年度事業報告および第２号議案の令和５年度収支決算報告が事務局から行われ、宇佐美監事から適正に執行されている旨の監査報告があり、事前質問並びに会場出席者からの質問に回答し、採決を行い承認されました。

報告事項は令和６年度事業計画および収支予算について事務局から報告がありました。

上から
挨拶する千鳥会長
会員増強支部表彰の各支部
東京建築賞受賞者の表彰

その後、在籍３０周年表彰、会員増強優良支部表彰が行われ、法令改正に関する勉強会を行うなどして会員増強に成果があった八王子支部を始め江戸川、港、文京、目黒、千代田、台東各支部が表彰されました。

最後に武内敏幸副会長から閉会の挨拶がありました。総会に参加された会員と審議事項の承認についてのお礼と３０年表彰の建築士事務所への感謝の言葉が述べられ、審議事項に関する質問や意見を踏まえて、しっかり収支の黒字化、中期事業計画への取組み、会員増強に取組んでいくとの決意を表明され閉会しました。

その他、協力事務所マッチングサービス（アーキ・パートナー）の紹介

マネジメント支援センター運営特別委員会の宮尾委員長からマッチングサービスの概要について説明がありました。事務所協会のみならず、他団体との連携も視野に今後の会員増強につなげていくことが期待されます。

第５０回東京建築賞表彰式

各選考委員の紹介、受賞者の紹介のあと古谷選考委員会委員長から作品の講評がありました。９６作品の応募があり、２作品について現場審査を行い、各賞を決定。

主なものとしてすべての賞の代表ともいうべき**東京都建築士事務所協会会長賞の「コードマーク御代田」**については、軽井沢の奥にある里山全体の再生とも言うべきもので大変素晴らしい取り組みで今後の参考になるものである。

また**東京都知事賞の九段テラス**については、東日本大震災で被災した歴史的建物を再生してさらに周辺環境と融合させたもので免震化と永続的な使用を考慮しているというものでした。（詳細はコア東京６東京建築賞特集号参照）

また、千鳥会長からは東京建築賞は、ＴＡＡＦが掲げる憲章にあるとおり、それにふさわしい作品とそれを実現された皆さんを称えるもの。５０回の節目となり回を重ねるごとにレベルが上がり、評価が上がっている。協会として、責任の重さに身の引き締まる思いである。

児玉前会長が建築は一人で作れるものではなく、多くの協力があってできるもの。私はそれに加えて適正に維持管理がなされていることが大切と思う。表彰されたものがいつまでもその輝きを維持されていくことを期待するとともに受賞された皆様のさらなる活躍を祈念する旨主催者として挨拶されました。

特別講演として「これからの東京建築賞について、人と文化を育む建築賞のあり方とは」と題して古谷委員長の講演がありました。

古谷委員長は、建築学会など多くの建築賞の審査を行ってきた経験を踏まえて、東京建築賞の幅の広さやいろいろな応募作品があり審査のむずかしさをどう解決していくか、また、応募者側からは応募しては良かったと思える審査形式の工夫など提言がありました。

知事挨拶・都議会議長挨拶・小池百合子東京都知事・合同会長挨拶・百年会長・小池副会長

懇親会での千鳥義典会長挨拶では、来年は昭和１００年になります。東京は大きな災害に２度にあっています。１度目は大正の関東大震災。２度目は東京大空襲です。戦後８０年間は大きな災害は起きていません。この東京をより住みやすく強靭な都市にし、次世代に繋げていくのが我々の使命であります。東京都には「東京の未来戦略」として１０００を超える施策があります。我々の専門である建築、まちづくりを通して、東京都に施策を提言をしていきたいと考えています。

その後の懇親会では小池東京都知事の祝辞、都議会議員の紹介・挨拶、関係団体の紹介、児玉日事連会長の乾杯と続き懇親会が始まりました。今回の参加者は約２５０名とのことで、途中、丸川顧問参議院議員が遅れてこられご挨拶いただき、閉会は三栖名誉会員による締めの挨拶がありお開きとなりました。

小池百合子東京都知事挨拶

千鳥会長から耐震化、不燃化などいろいろと陳情を受けています。未来の東京戦略について都は医療、福祉、教育、そしてまちづくりと幅広いものから小さいものまで含めると大変な数に取組んでいます。都民の財産生命をどうやって守っていくか、どうやって快適な暮らしを続けていけるかという観点からの戦略であります。

世の中の変化のスピードが速いので、最近はアジャイルと言う言葉がよく使われるが、新しいものはどんどん積み重ねていって戦略そのものは適宜変えていかなければ時代に合わない状況になっている。

建築士の皆様は施主の方からさまざまな要望を聞かれると思いますが、また大きなビルからマンション、戸建てなどいろいろなスケールがあると思いますが、大きな方向性を施主と一緒に持っていただくためには、建築士の皆さんが是非いろいろなご提案をしていただきたい。

住めば健康になる。そして住むことによって、燃費があると良くなる。家にも燃費があると思うのでよりよくなるようなことを、皆さんがご提案いただくことによって持続的に発展する東京がさらに磨きが掛けられると思います。

資材が高騰している総合的な経済の観点、金融の観点からも考えながら経済を牽引するのが建築の分野です。皆様方がますますご発展されることをまた建築士事務所協会の皆様方が益々ご健勝でご発展されますことを心からご祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

東京は世界最高の都市として、これからも持続的な成長を続けていくためにも常に見直しを行っていきます。

今年は１月１日からお屠蘇気分が吹っ飛んだ能登半島地震、そして今日もまた宮崎で地震、震災はいつ起こるかわからない。また火災が燃え広がらないためにいろいろな工夫をしなければならない。それからより木を多く使っていただくことによって、東京の日本の森が生きてくるそういった循環を作っていただければならないと思っている。

支部からの報告

審議事項

●支部総会・建築懇談会について

○皆様のおかげで定足数も充足し、総会議案も承認いただきました。

●委員会発足の件

○手始めに協力会員会の立ち上げ、研修委員会が始動しました。

●次期役員改選の件

○来年度は改選期にあたるので支部長他選考していきます。若い人を重用したい。

●渋谷支部ＨＰについて

○現在アップしている。その後より利用しやすいように改善していくこととなる

報告事項

●業務委員会報告　塚部彰

○５月の業務委員会報告がなされた。

○大規模修繕ＷＧの報告がなされた

●事業委員会報告　河邑石水

○５月の事業委員会報告がなされた

●会計報告　野崎岳夫

○４月の会計報告がなされた、また本会へ渋谷支部の会計報告がなされた

●渋谷区の防災キャラバンが始まりました

○今年度も６月８日の笹塚地区を手始めに６カ所の地区で開催されます。皆さん参加お願いします。

●入退会報告

○異動はありません。

協力会員コーナー

協力会員の皆様の紹介欄です。ＰＤＦ又はＪＰＥＧでお送りいただきましたらこの欄に載せます。

タイカヒフクで、
暮らし の安全を支える
WE SUPPORT SAFETY, WE PROTECT SOCIETY.

fushimi
巻付け耐火被覆工事の
伏見工業株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川1-24-6
TEL 03-3471-4468　FAX 03-3458-5363